

ぼくたちができること

ぼくの家族は、一年一組の教室で、三十四人の人たちといっしょにひなん生活をしている。着るもの食べるものもあまりないけど、みんなで分けあって協力している。

ぼくも食べ物をもらいに行っている。初めの三、四日はあつという間にすぎたけど、その後、ぼくはこれでいいのかなと思うようになってきた。小学校には、たくさんの子どもがひなんしてきているが、みんなが集まってすることがない。小さい子は、ぼくら以上に大変だろうと思って、ぼくたちにできることはないか考えた。

そこで、先生に、

「紙しばいをしようと思うんですけど、どうですか。」
と聞いた。

「自分たちでやろうと思うことは、どんどんやれ。」
と言われたので、小さい子を集めて、今やっている。

毎日、ほんの二十分くらいだけど、三才から低学年くらいの子が集まって、真けんに聞いたり、おもしろいところでわらったりするすがたを見てみると、ぼくたちもやってよかったと思う。